

受験番号
氏名

得点
----

問一

A	膨大
B	はつろ
C	いと
D	すいこう
E	渦

問二

A	カ
B	ア
C	ウ
D	キ
E	オ

問三

①	イ
②	オ
③	ア
④	カ
⑤	キ
⑥	ウ

問四 (例) AIがまだ開発されて間もないにも関わらず、人間の作った機械に人間自身が負けるといふ現象が生じているから。

問五 (例) 優れた大量のデータでも限度があり、また、人間の知識の枠組みを越えるものでない以上、AIに学習させても、生き物の場合のようにうまくいかないということ。

問六

火
---

問七

イ
---

問八

最初	衝動的
最後	想像力

問九 (例) 人間は人工物であるコンピュータとは違って未知への好奇心を持つ生身の存在であり、絶えず無意識の刺激に突き動かされながら、表現をしていくことができるから。

問十 うことである。

二

問一

A	壁沿い
B	臆病
C	あいさつ
D	微笑
E	んだ
こぶし	

問二

エ
---

問三 (例) マチから自分が注意を受けるなどとは考えたこともなく、あつけにとられている。

問四

エ
---

問五

①	人に嫌われたくない
②	はつきり言えない

問六 (例) 琴穂が前日に注意を受けたことを気にしていない上に、心を入れ替えたことを示し、周囲に気を遣わせないようにするため。

問七

イ
---

問八 琴穂 (例) 琴穂が勇気を出してみんなが嫌がるパトリダーを引き受け、マチが注意してからは責任をもつてパートをまとめてくれたこと。

“誰か” (例) マチが「はつきり言えない」ということをコンプレックスに感じていることに対し、力強い言葉と考え方で励まし、琴穂と向き合う勇気を与えてくれたこと。

問九 (例) あのメモの主はひよつとして、みなみかもしれない。